

2025年度

学校関係者評価委員会

1. 開催日時： 2026年 2月20日（金）
2. 開催場所： 三草会札幌看護専門学校 会議室
3. 委員： 学校法人 西野学園 理事長
社会医療法人 恵佑会札幌病院 副院長兼統括看護部長
株式会社 北央情報サービス 監査役
北石狩公平委員会 委員長
- 学校： 校長
副校長
事務長（文責）
4. 報告： 自己点検・自己評価内容についてご意見及び今後の課題、改善策等のご助言を頂き、学校運営に反映していきます。
 - ・ 学校概要・計画・教育活動等の報告
 - ・ 別紙2025年度自己点検評価報告

学校関係者評価委員会 2025年度 自己点検・自己評価報告

2026年2月20日

項目	平均評価		今後の課題・改善
	2024年	2025年	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念 ・教育目的 ・教育目標 	4.00	4.00	<p>評価にあたっては、本校の教育理念の核である「人間の尊厳」「人間愛」の精神が根付いて卒業を迎えることができたのか、卒業時における学生の教育目的・目標の達成状況が指標となる。</p> <p>10年を一区切りに卒業生の評価を考えていく必要がある。</p> <p>教育理念・教育目的・目標は学生にとって学修の指針となることから、評価にあたっては、卒業時における学生の達成状況が指針となる。本校のカリキュラム評価と開発の考え方を示し計画立案し取り組む。教育の結果をどのように評価するかについての考え方、具体的な方法を示し、効率的、効果的な評価計画を作成していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程経営 	3.84	3.94	<p>「授業準備のための時間をとれる体制を整えているか」の評価では「あまり思わない」の回答があり前年度と同じ課題回答であった。引き続き現状を把握し教員が授業準備のための時間の確保に向けていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教授 ・学習（講義・演習・実習） ・評価課程 	3.98	3.84	<p>教授・学習・評価過程は、学生、教育内容、教員の3本柱によって成り立つことから、入学時に授業評価の考え方をガイダンスし承諾を得て、授業評価を実施している。「学べたこと、難しかった内容、講義に対する意見」などを無記名で記載している。教員も授業計画の目標達成の自己評価とフィードバックを実施している。</p> <p>学内実習・演習は、担当教員とリフレクション面談の時間を設定しており、評価表のすり合わせを中心に課題の明確化をすることで教員と学生間の共通確認ができ、看護技術の完成度も早く得られている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・経営 ・管理課程 	3.96	3.96	<p>課題が入学生の減少に伴う経営問題がある。</p> <p>物価高の影響により高熱費はじめ消耗品等値上りし経費増加している。修学支援に影響がでないよう費用抑制に努める。</p> <p>広報活動の拡大や工夫をし、受験生の増加を図る。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入学 ・入学 ・就職 ・進学 	3.98	3.94	<p>入学受験生の減少が顕著である。北海道の看護師不足が到来しており、養成校として看護師の魅力、看護の素晴らしさなど地域にPRを広めていく。また、職業選択への導きとして中学生と東区住民を対象に学校開放を行いよりPR活動を拡大していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会 ・国際交流 	3.50	3.68	<p>課題として関係福祉施設及び地域の福祉施設等のボランティア活動への奨励がある。</p> <p>学生を地域活動に参加させることで、将来看護学生になる自分たちが社会のニーズに応える意識の高揚を引き続き図りたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研究 	3.33	3.75	<p>校内研修委員係を組織に位置付け授業研究、模擬授業、授業評価、事例検討会、学会報告会の年間計画を立案し教員全員が実施し継続し、「私の学校自慢」の優秀賞授与により日常の教育実践の意義を教員間で共有ができ、個々の研究活動の糧になる事を期待したい。</p>